

□要請番号 (JL61822A02)**募集終了**

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	A101 コミュニティ開発	20~45 歳のみ	個別	交替 3代目	2年	・2023/1

【配属機関概要】**1) 受入省庁名（日本語）**

農業・畜産省

2) 配属機関名（日本語）

イタシ県農業・畜産局

3) 任地（イタシ県ミアリナリブ郡ミアリナリブ市） JICA事務所の所在地（アンタナナリボ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約3.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、農業・畜産省の出先機関で、イタシ県において農業普及・技術指導や村落開発事業を実施している。同局は、農業、畜産、評価、統計等の部署に分かれ、県内にある3つの農業・畜産支所を管轄している。年間予算は440万円。同県は、マダガスカルの中央高地にある農業の盛んな地域で、JICAは、2008年から生活改善の取り組みを支援しており、現在は稻作と栄養に関する技術協力プロジェクトを実施中である。任地では現在、2代目のJICA海外協力隊員が活動中で、今後、同任地には栄養とスポーツの各分野にて隊員を派遣予定である。

【要請概要】**1) 要請理由・背景**

配属先は、日本の農村地域開発手法である「生活改善アプローチ」の有効性を認識し、農村部の住民の生活向上や生産活動を促進する目的で、同アプローチの拡大を目指し研修等は行ってきたが、現場での継続的なサポートや農村部でのさらなる普及のためにJICA海外協力隊員の要請があげられた。隊員は、住民の生活の実態やリソース・ニーズを把握し、具体的な生活の質改善や収入創出・向上につながるように、隊員自身の得意分野を生かしたアイデアの提案や活動の普及と拡大に資する活動が期待される。現在派遣中の隊員は、前述のJICA技術協力プロジェクトの現地普及員とも連携しながら生活改善活動に取り組んでいる。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先スタッフや普及員等と協力しながら以下の活動を行う。

- 1.住民の生活実態や家計を調査・把握したうえで、ニーズと改善の可能性を探る
- 2.住民のニーズに対して、生活改善のためのアイデアを提案し、活動や研修の実施支援を行う。
- 3.農家の収入向上を目指し、配属先関係者と農家とのコーディネート役を担いつつ、研修等の実施支援を行う。
- 4.活動事例等をまとめ、同活動の継続と普及のための体制を整える。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先備品。JICAが作成した生活改善に関するDVD・パンフレット・資料。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 配属先長:40代女性、農業部門長(C/P)男性 40歳代、その他職員40名

活動対象者: 活動対象地域の住民グループ、生活改善普及員(県内に約5名)、地域開発普及員(CDR)

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

[汎用経験]：

- ワークショップやイベント等の企画運営経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温暖冬季少雨気候) 気温：(5~30°C位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可) 電話可 [水源]：(不安定)

【特記事項】

- 派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。
- 市中心部は週4日程度断水するが、現隊員宅は貯水タンク設置済みのため断水はほぼない。
- 移動手段に関しては、遠方の農村での活動も想定されることから、公共交通機関や自転車を利用することも可能。

【類似職種】

・野菜栽培

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。